

H3K9me3 polyclonal antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 18.02.2020

第1節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 H3K9me3 polyclonal antibody
製品コード C15410056

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ。

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急電話番号

緊急時情報提供 +32 4 364 20 50
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月 - 金 09:00 - 17:00

第2節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.4S	感作性 - 皮膚	1	Skin Sens. 1	H317
4.1A	水生環境有害性 - 短期間 (急性) 有害性	3	Aquatic Acute 3	H402

省略の全文：第16節を参照。

最も重要な物理化学的悪影響、人の健康と環境に対する影響及び症状
消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ。

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語 警告

- 絵表示

GHS07



- 危険有害性情報

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H402 水生生物に有害。

H3K9me3 polyclonal antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 18.02.2020

- 注意書き
 - P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレ-の吸入を避けること。
 - P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 - P273 環境への放出を避けること。
 - P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 - P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
 - P321 特別な処置が必要である（このラベルのを見よ）。
 - P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 - P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 - P501 内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること。
- 有害成分の表示 proclin 300

2.3 他の危険有害性

PBT と vPvB の評価の結果

当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない。

第3節：組成及び成分情報


3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この製品は、緩衝水溶液中の抗体で構成されています。0.05%アジ化ナトリウムを含むそして0,05% ProClin™ 300 防腐剤として。

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
proclin 300	CAS-番号 55965-84-9	0,05	Acute Tox. 4 / H302 Acute Tox. 3 / H311 Acute Tox. 4 / H332 Skin Corr. 1B / H314 Eye Dam. 1 / H318 Skin Sens. 1 / H317 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 1 / H410	

省略の全文：第16節を参照。

第4節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医師の診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医師の診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

皮膚を水/シャワーで洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開眼しておき、最低10分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

H3K9me3 polyclonal antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 18.02.2020

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第5節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水, フォーム, ABC-パウダー

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

積もった可燃性/引火性ダストは爆発する重大な可能性を持っている。

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x), 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

5.3 消防士に対するアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消火活動を行うこと。

第6節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと、機械で吸収すること

流出を浄化する方法について適切な助言

機械で吸収すること。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触禁止物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

H3K9me3 polyclonal antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 18.02.2020

第7節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること。静電気放電に対する措置を講ずること。よく換気された場所で使用すること。容器を接地しアースを取ること。

- 特殊な注記／明細

ダスト堆積物は作業場のあらゆる表面に定着する可能性がある。製品は配達された状態では粉じん爆発を起こす危険性はないが、細じんが交わると粉じん爆発の可能性が高まる。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

次のリスクに直面した場合

- 爆発性

ダスト堆積物を排除すること。

- 換気要求事項

局所及び全体換気を使用すること。

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

第8節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

職場ばく露限界値（職場ばく露限界）											
国	物質の名前	CAS-番号	特定名	OEL-M [ppm]	OEL-M [mg/m ³]	STEL [ppm]	STEL [mg/m ³]	OEL-C [ppm]	OEL-C [mg/m ³]	注釈	出典
JP	粉塵		OEL		4					less3silica, dust	JSOH
JP	粉塵		OEL		1					less3silica, r	JSOH
JP	その他の無機および有機粉塵		OEL		8					dust	JSOH
JP	その他の無機および有機粉塵		OEL		2					r	JSOH

注釈

dust 粉塵
less3silica 結晶質シリカ含有率3%未満の
OEL-C 天井値とはばく露が超えてはいけない限界
OEL-M 時間加重平均（長期ばく露）：参考期間8時間の時間加重平均で測定あるいは計算
r 吸入性粉塵
STEL 短期ばく露限界：他に特定されていない場合、参考期間15分内で超えてはいけない限界

H3K9me3 polyclonal antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 18.02.2020

混合物の成分の関連するDNEL						
物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
proclin 300	55965-84-9	DNEL	0,02 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－局所的作用
proclin 300	55965-84-9	DNEL	0,04 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性－局所的作用

混合物の成分の関連するPNEC						
物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
proclin 300	55965-84-9	PNEC	3,39 µg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
proclin 300	55965-84-9	PNEC	3,39 µg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
proclin 300	55965-84-9	PNEC	0,23 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
proclin 300	55965-84-9	PNEC	0,027 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
proclin 300	55965-84-9	PNEC	0,027 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
proclin 300	55965-84-9	PNEC	0,01 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

保護手袋を着用すること.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム/軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

パティキュレートフィルター (EN 143).

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第9節：物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

外観

物理的性状	個体
色	無色の
臭気	無臭

H3K9me3 polyclonal antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 18.02.2020

その他、安全性評価基準

pH (値)	適用されない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	適用されない
蒸発速度	測定できない
可燃性 (固体、気体)	素材は可燃性だが、簡単に発火しない
粉じん雲の爆発限界	測定できない
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
粘度	非該当 (固形物)
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	その他の情報	追加情報がない
-----	--------	---------

第10節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に。

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照。

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

火災や爆発を避けるための手引き

製品は配達された状態では粉じん爆発を起こす危険性はないが、細じんが交わると粉じん爆発の可能性が高まる。

H3K9me3 polyclonal antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 18.02.2020

10.5 不適合材料

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第5節を参照。

第11節：毒性学的情報

11.1 毒性学的影响の情報

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として分類されない。

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

発がん性

発がん性として分類されない。

生殖毒性

生殖毒性として分類されない。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性として分類されない。

第12節：環境影響情報

12.1 毒性

水生生物に有害。

混合物の成分の（急性）水生毒性					
物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
proclin 300	55965-84-9	LC50	0,19 mg/l	魚	9 6 h
proclin 300	55965-84-9	EC50	0,16 mg/l	水生無脊椎動物	4 8 h
proclin 300	55965-84-9	ErC50	19,9 µg/l	藻類	7 2 h

H3K9me3 polyclonal antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 18.02.2020

12.2 難分解性及び分解性

データなし.

12.3 生物蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動度

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 他の有害影響

データなし.

第 1 3 節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない。外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること。

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能。汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる。

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること。地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう。

第 1 4 節：輸送上の注意

- | | |
|--|---------------------|
| 14.1 国連番号 | 輸送規則の要件は適用されない |
| 14.2 国連出荷名 | 未特定 |
| 14.3 輸送時の危険性クラス | 未特定 |
| 14.4 容器等級 | 未特定 |
| 14.5 環境有害性 | 危険物規則に基づいて環境有害性ではない |
| 14.6 使用者のための特別予防措置 | 追加情報がない。 |
| 14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送 | 荷はバラ積み輸送に適していない。 |

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規則(IMDG)

IMDG協定対象外。

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR)

ICAO-IATA協定対象外。

H3K9me3 polyclonal antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 18.02.2020

第 1 5 節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない。

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

第 1 6 節：その他の情報

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性－短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性－長期間（慢性）有害性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
EC50	半数影響濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す
ErC50	≒EC50: 当方法では被験物質と比較し、濃度の成長 (EbC50) または成長率 (ErC50) が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
JSOH	日本産業衛生学会 "産業衛生学雑誌": 許容濃度等の勧告
LC50	半数致死濃度：LC50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する濃度のことをいう
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約（略：海洋汚染防止条約）
OEL	許容濃度
OEL-C	天井値
OEL-M	時間加重平均
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
ppm	100万分の1
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
Skin Sens.	感作性－皮膚
STEL	短時間暴露限界

H3K9me3 polyclonal antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 18.02.2020

略	使用した略語の説明
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則 (IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書 (DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている (加算式).

関連する警句のリスト (項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載)

コード	文
H302	飲み込むと有害.
H311	皮膚に接触すると有毒.
H314	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷.
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ.
H318	重篤な眼の損傷.
H332	吸入すると有害.
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H402	水生生物に有害.
H410	長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性.

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.